

# 令和2年度第1回八雲町総合開発委員会

と き 令和2年9月28日(月) 13:30

ところ 八雲町役場 第1・2会議室

## 1 開 会

## 2 町長挨拶

## 3 会長・副会長の選出

## 4 報告事項

- (1) 第2期八雲町総合計画の評価(令和元年度実施分)について ..... P.1～31
- (2) 第2期八雲町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について ..... P.32～39
- (3) 当面する町の主要施策・事業について
  - ①新型コロナウイルス感染症対策について ..... P.40～52
  - ②熊石国民健康保険病院建替事業基本構想・基本計画について ..... P.53～55
  - ③町内全域の光ファイバ整備について ..... P.56

## 5 その他

## 6 閉 会

令和2年9月28日開催 八雲町総合開発委員会出欠確認表

9/28(月)13:30～ 第1・2会議室

任期:令和2年2月1日～令和4年1月31日

No.	氏名	住所	備考	出欠
1	大野 尚司	富士見町	八雲町町内会等連絡協議会会長	○
2	井口 啓吉	熊石平町	熊石町内会等連絡協議会会長	○
3	服部 雅彦	東雲町	八雲商工会会長	×
4	刀禰 清貴	熊石平町	熊石観光協会会長	○
5	小西 敏雄	東雲町	八雲観光物産協会会長	×
6	舟田 進一	花浦	J A 新函館理事北渡島地区運営委員長	○
7	小笠原 英毅	東町	北里大学獣医学部講師	○
8	小川 勝士	出雲町	八雲町漁業協同組合専務理事	○
9	鎌田 和弘	落部	落部漁業協同組合専務理事	○
10	木村 滋	熊石相沼町	漁業	○
11	能代 常男	立岩	八雲町社会福祉協議会副会長	○
12	阿部 政邦	三杉町	八雲体育協会会長	○
13	三島 弘世	東雲町	連合北海道八雲地区連合会	×
14	田中 元	熊石相沼町	八雲町PTA連合会会長	×
15	尾関 光広	相生町	なかよし保育園長	○
16	上田 倫央	本町	北海道労働金庫八雲支店長	○
17	椎谷 玲香	富士見町	法テラス八雲法律事務所	○
18	佐藤 馨	東町	一般公募委員	○
19	西田 香予子	熊石鮎川町	一般公募委員	○

出席15名  
欠席4名

令和2年度 第1回 八雲町総合開発委員会 座席表

(敬称略)

管理職員          管理職員          管理職員

--	--	--

管理職員      教育長      副町長      管理職員

--	--	--	--

事務局

町 長

会 長

小川 勝士

鎌田 和弘

刀禰 清貴

木村 滋

舟田 進一

小笠原英毅

大野 尚司

井口 啓吉

能代 常男

阿部 政邦

佐藤 馨

西田 香予子

上田

倫央

尾関

光広

椎谷

玲香

傍 聴 席



# 第2期八雲町総合計画の概略

## 八雲町総合計画とは・・・？

まちづくりの目標とその取組方向を示すものであり、八雲町の最上位に位置する計画。長期展望に立ったまちづくりの基本的な考え方を明らかにするとともに、町民と議会及び行政が一体となったまちづくりを進めるための指針を示す。第2期の計画期間は平成30年度から令和9年度までの10年間。

## 基本理念

第2期八雲町総合計画の基本理念は、八雲町民憲章とする。

### 八雲町民憲章

- 1 自然を愛し美しい町をつくろう
- 2 助け合うたあたたかい町にしよう
- 3 活気あふれる町にしよう
- 4 つねに進歩する町民になろう



## 八雲町の将来像

### 八雲発！自然と人を未来へつなぐ



八雲町は太平洋と日本海、2つの海をもつ自然豊かな町として、歴史を紡ぎながら、将来に向けて農業・漁業のさらなる“発”展と新幹線開通を契機に、再生可能エネルギー導入による自然との調和を生み出し、八雲町の魅力を積極的に町内外へ“発”信することで、産業・経済・ひとが活“発”で笑顔あふれる町になるよう、これまで積み上げてきた自然と人との多様なつながりを未来へつなげるという想いを込め、これを10年後の目指すべき将来像とする。

## 戦略プロジェクト

### 八雲町自立促進プロジェクト

食を支える第一次産業と再生可能エネルギーを活用した産業の振興を図り、地域の経済活性化により、行財政運営における自立実現を目指す。



### 道南北部中心プロジェクト

総合病院の機能の維持や北海道新幹線を中心とした広域的な交通体系や周辺整備等により、道南北部自治体の中心としての機能を高めていくことを目指す。



## 基本目標 1 八雲の自然と調和する安心・安全な都市基盤整備

北海道新幹線新八雲(仮称)駅の開業を控え、広域交通網の一端を担う道南北部中心の町としてふさわしい道路網・交通体系、上下水道などの生活を支える都市基盤の整備を進める。また、人口減少、少子高齢化時代に向けた生活利便性の維持・向上や行政コストの削減などを目指した、コンパクトシティ・プラス・ネットワークの推進による持続可能なまちづくりを進める。

- 土地利用の推進
- 市街地及び集落の環境整備
- 道路網の整備
- 上・下水道の整備
- 緑化・環境美化の推進
- 消防・救急体制の充実
- 自然環境の保全
- 交通体系の整備
- ごみ処理等の環境整備
- 防犯・交通安全の推進
- 防災体制の強化

## 基本目標 2 八雲の豊かな資源を活用した産業振興

町の基幹産業であり、八雲の最大の魅力の1つである“食”を支える第一次産業や、現在、町が進めている再生可能エネルギーを活用した産業の振興を、今後さらに推進していく。また、こうした産業の基盤となる豊かな地域の資源を、商工業や観光業にも活用しながら、地域経済の活性化や雇用の創出に繋げていく。

- 農林業の振興
- 商工業の振興
- 雇用の創出と雇用環境の向上
- 再生可能エネルギーを活用した産業の振興
- 水産業の振興
- 観光の振興

## 基本目標 3 誰もがいきいき暮らせる健康・医療・福祉の推進

町内に複数の病院を有する八雲町においては、広域的にも医療の拠点としての役割が期待されていることを踏まえ、各病院の機能強化を推進する。また、高齢者や障がい者、子育て世帯等に対する公的な支援の充実を図るとともに、地域における支え合いの強化に向けて、自助・共助・公助といったそれぞれの役割を踏まえた、様々な課題解決の取り組みを進める。

- 健康づくりの促進
- 地域福祉の促進
- 子ども・子育て支援の強化
- 障がい者福祉の推進
- 医療体制の充実
- 高齢者福祉の推進

## 基本目標 4 ふるさとを築く教育の充実と文化・スポーツの振興

次代の八雲町を担う子どもたちが、それぞれの資質を伸ばしながら健やかに成長し、様々な世界で夢を持って活躍する力を養うとともに、八雲町をふるさととして大切に想う気持ちを持ち続けられるような学校教育を推進する。また、町民が生涯に渡って豊かな暮らしを実現できるように、文化・スポーツの振興や、歴史を伝える文化財の保存とその活用に取り組む。

- 学校教育の充実
- スポーツの推進
- 生涯学習の推進
- 文化財の保存・活用

## 基本目標 5 八雲の自立を実現する協働と行財政運営

自治基本条例に基づく協働のあり方をはじめ、まちづくりに関わる多様な情報発信・共有を積極的に行うとともに、まちづくりの担い手となる地域の人材の育成に努める。また、行政組織のスリム化や業務の効率化、広域連携による課題解決も含めた、多様な手段で、適正な行財政運営を目指す。

- コミュニティ活動と交流の促進
- 住民参画の推進
- 行財政の強化
- 情報・広報体制の充実
- 広域行政の推進



## 第2期八雲町人口ビジョン・総合戦略の概略

### 人口ビジョン・総合戦略とは…



- 「人口ビジョン」とは、自治体の長期的な人口推計をするとともに、増減要因を分析するもの。
- 「総合戦略」とは、人口ビジョンで分析した要因に基づいて立てる、人口減少対策に関する計画。
- 第2期は、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間として、令和2年3月に策定。

### 第2期八雲町人口ビジョン



- 社人研準拠推計（2015年国勢調査）

2060年 人口：5,078人 高齢化率：47.6%

#### 【目標1】合計特殊出生率

2018年 1.40 ⇒ 2030年 1.80 ⇒ 2040年 2.06

#### 【目標2】人口の純移動数

2018年 ▲86人 ⇒ 2040年 ±0人（均衡）

- 独自推計（目標1・2を達成と仮定）

2060年 人口：9,150人 高齢化率：35.1%

### 第2期八雲町総合戦略



#### 基本目標1 働く人をつくり、産業を活性化する

##### KGI

農業産出額 H29年 839千万円 ⇒ R6年 840千万円  
 漁獲高 H29年 576千万円 ⇒ R6年 580千万円

##### 主な取組

- 研修牧場整備事業
- サーモン養殖試験事業
- ふるさと応援寄附金奨励事業 など



#### 基本目標2 安心して子育てできるまちをつくる

##### KGI

合計特殊出生率 H30年 1.40 ⇒ R6年 1.58

##### 主な取組

- 妊婦健康診査事業
- 妊婦外来医療費助成事業
- 子育て世帯支援事業（保育料軽減、給食費無償化）など



#### 基本目標3 人が移り住み定着してもらえるようまちの魅力を向上させる

##### KGI

転出超過低減 H30年 86人超過 ⇒ R6年 64人超過

##### 主な取組

- 奨学金償還支援事業
- 地域おこし協力隊配置事業
- 南北海道定住自立圏連携事業
- 学術機関や企業との連携 など

